

29) 腫瘍内科

1. 診療体制と患者構成

1) 診療科スタッフ（講師以上）

古瀬 純司（教授、診療科長）

長島 文夫（准教授）

2) 常勤医師数、非常勤医師数

常勤医師 4名

非常勤医師 2名

専攻医 2名

3) 指導医、専門医、認定医数

日本内科学会認定医 4名、専門医 1名、指導医 1名

日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医 1名、暫定指導医 2名

日本消化器病学会専門医 3名、指導医 1名

日本肝臓学会専門医 2名

日本消化器内視鏡学会専門医 3名、指導医 1名

日本がん治療認定医機構暫定教育医 1名、認定医 3名

日本臨床薬理学会指導医 1名

日本麻酔科学会認定医 1名

4) 外来診療の実績（表1）

消化器がん、原発不明がんなどを中心に診療を行っている。表1に平成21年-26年度新規取扱い患者数を示す。腫瘍内科ではがん薬物療法（化学療法）を主な治療手段として実施しており、多くが外来での通院治療となっている。

5) 入院診療の実績（表2）

入院を必要とする化学療法は、cisplatin-basedのレジメン（胃癌に対するS-1 + cisplatin、食道癌に対する5-FU + cisplatin、神経内分泌腫瘍に対するcisplatin + etoposideあるいはirinotecanなど）、および大腸癌に対するFOLFOXあるいはFOLFIRI、膀胱癌に対するFOLFIRINOXなどの導入や教育目的で施行している。

その他の入院は、原発不明がんの診断と治療、緊急対応が必要な病態（いわゆるoncologic emergency）、化学療法の副作用に対する支持療法、病勢進行により緩和治療、組織生検など診断を目的としたものである。

2. 先進医療への取り組み

最近のがん診療の分野は腫瘍学として発展しており、特に化学療法の進歩は著しく、有効性も向上した。その一方、バイオマーカーに基づく適応や毒性など複雑になっている。分子標的薬を始めとした新しい治療薬も次々と登場してきており、適切な適応、副作用対策をチーム医療として進めている。

消化器がんの新しい治療法の開発、新規抗がん剤の薬物動態や安全性をみる第I相試験、標準治療の確立を目的とした大規模な多施設共同試験などの臨床研究を積極的に進めている（表3）。

がん治療の向上には、基礎研究と臨床とを結ぶ、translational researchが必要である。当腫瘍内科では、当科が研究代表機関として他の診療科や他大学との協力・連携しながら、次の研究課題に取り組んでいる。

1) 高齢者に対する化学療法の適切な実施に関する研究

2) 高齢膀胱がん患者における化学療法施行前後の総合機能評価の変化と治療効果に関する研究

3) コルチゾール6β-水酸化代謝クリアランスを指標として、タキサン系抗がん剤および新規分子標

的薬レゴラフェニブの薬物動態と治療成績に関する臨床試験

- 4) 進行胆道癌における分子標的治療とバイオマーカー発現に応じた治療効果に関する研究
- 5) オキサリプラチンおよびパクリタキセルによる末梢神経障害に対するトラマドールの有用性に関する研究

3. 低侵襲医療の施行項目と施行例数

実施していない。

4. 地域への貢献

- 1) 三多摩地区 講演 0件
- 2) 東京都内 講演 5件
- 3) 東京都外 講演 18件
- 4) 市民公開講座での講演等 7件

- ・古瀬純司：最新の抗がん剤治療と治療の選択。*平成26年度 連携大学合同市民公開シンポジウム。がんと上手につきあうために～抗がん剤治療の専門家からのアドバイス。平成26.7.5, 三鷹市
- ・古瀬純司：10期がん情報ナビゲーター養成講座消化器がん③。肝・胆道・膵がんー疫学・診断・治療の実際ー。NPO法人がんネットジャパン。平成26.8.1, 東京
- ・古瀬純司：肝臓がんの薬物治療。Akiba Cancer Forum。NPO法人がんネットジャパン。平成26.8.9, 東京
- ・古瀬純司：もっと知ってほしい がんと化学療法のこと。アピタルがん夜間学校。NPO法人がんネットジャパン。平成26.8.20, 東京
- ・古瀬純司：企画、司会。平成26年度杏林医学会市民公開講演会。がん医療の最前線。がんの予防と最新治療。平成26.11.15, 三鷹市
- ・古瀬純司：がんを知り、がんと生きる～大都市圏における都市型がん診療とは～。消化器がんの患者さんから学ぶ。がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン。連携4大学合同市民公開シンポジウム。平成26.12.20, 東京
- ・古瀬純司：膵がん治療の進歩ー新しい時代への期待。第5回クリスマス・スペシャル勉強会。パンキャンジャパン主催。平成26.12.23, 東京

表1 平成22年 - 26年度 新患者

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
結腸・直腸癌	26	24	37	46	58
膵癌	51	41	54	59	58
胆道癌	21	19	14	19	15
胃癌	24	14	30	43	49
肝細胞癌	13	10	9	7	2
食道癌	3	5	14	29	23
消化管間質腫瘍	1	0	1	8	0
原発不明	3	3	2	3	7
神経内分泌癌	1	2	0	1	3
その他	0	5	2	2	2
合計	144	123	163	217	217

表 2 平成24年 - 26年度入院治療実績

診断名	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	患者数	入院件数	患者数	入院件数	患者数	入院件数
膵癌	52	88	62	88	51	80
結腸・直腸癌	61	74	53	60	56	72
胆道癌	22	23	17	28	9	12
肝細胞癌	7	17	9	9	2	3
胃癌	50	124	54	134	53	132
食道癌	20	38	33	74	36	79
原発不明癌	6	19	4	4	5	13
その他	9	13	7	11	8	21
合計	227	396	239	408	220	412

表 3 平成26年度実施した臨床試験

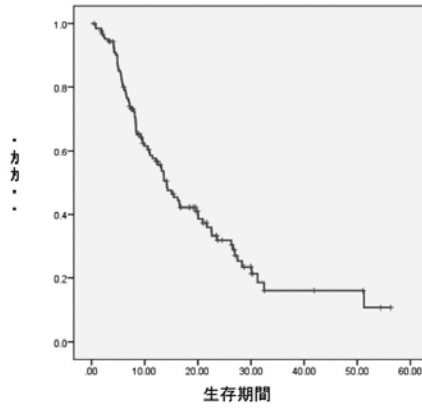
研究名	対象	試験デザイン	研
ONO-7056 第 I 相試験 固形がん患者における多施設共同非盲検用量漸増試験	固形癌	第 I 相試験	治験
切除不能進行・再発膵癌患者を対象としたABI-007+Gemcitabine (GEM) 療法の第I/II相試験	膵癌	第 I / II 相試験	治験
局所進行膵癌に対するS-1 併用放射線療法における導入化学療法の意義に関するランダム化第II相試験	膵癌	第 II 相試験	JCOG試験
フッ化ピリミジン系薬剤、プラチナ系薬剤、trastuzumabに不応となった進行・再発HER2陽性胃癌・食道胃接合部癌に対するweekly paclitaxel + trastuzumab併用療法vs. weekly paclitaxel療法のランダム化第II相試験	胃癌	第 II 相試験	WJOG試験
切除不能進行膵癌（局所進行又は転移性）に対するTS-1 通常投与方法とTS-1 隔日投与方法のランダム化第II相試験	膵癌	第 II 相試験	医師主導試験
OCV-C01による標準療法不応膵癌に対するプラセボ対照ランダム化第III相臨床試験	膵癌	第 III 相試験	治験
JCOG1018：高齢切除不能進行大腸癌に対する全身化学療法に関するランダム化比較第III相試験	大腸癌	第 III 相試験	JCOG試験
進行胆道癌を対象としたゲムシタビン+シスプラチン併用療法（GC療法）とゲムシタビン+S-1 併用療法（GS療法）の第III 相比較試験	胆道癌	第 III 相試験	JCOG試験
根治切除後胆道癌に対する術後補助療法としてのS-1療法の第III相試験	胆道癌	第 III 相試験	JCOG試験
高度腹水または経口摂取不能な腹膜転移胃癌に対するフルオロウラシル/1-ロイコボリン療法 vsフルオロウラシル/1-ロイコボリン+パクリタキセル療法(FLTAX療法)のランダム化第II/III相比較臨床試験	胃癌	第 II / III 相試験	JCOG/WJOG試験
Cancer-Specific Geriatric Assessment (CSGA) を用いた高齢者膵癌患者に対する総合機能評価についての検討	膵癌	第 II 相試験	医師主導試験
ゲムシタビン耐性胆道癌患者を対象としたアキシチニブ単剤療法の第II相試験	胆道癌	第 II 相試験	医師主導試験

研究名	対象	試験デザイン	研
Fluoropyrimidine, Oxaliplatin, Irinotecanを含む化学療法に不応または不耐のKRAS野生型進行・再発結腸・直腸癌に対するRegorafenibとcetuximabの逐次投与とcetuximabとregorafenibの逐次投与のランダム化第II相試験	大腸癌	第II相試験	医師主導試験
進行再発大腸癌におけるKRAS minor, BRAF, NRAS, PIK3CAなどのがん関連遺伝子変異のプロファイリングの多施設共同研究	大腸癌	-	医師主導試験
ゲムシタピン耐性膵癌患者を対照としたTAS-118とS-1のランダム化第III相比較試験	膵癌	第III相試験	治験
ゲムシタピン治療不応の局所進行、再発又は転移を有する胆道がん患者におけるMEK阻害薬GSK1120212単剤による二次治療を対象とした第IIa相試験	胆道癌	第II相試験	治験
BBI608の前治療歴のある進行結腸直腸がん患者を対象としたプラセボ対照ランダム化第3相試験	大腸癌	第III相試験	治験
オピオイド誘発性の便秘症を有するがん患者を対象としたnaldemedineの第3相臨床試験	悪性腫瘍	第III相試験	治験
ソラフェニブ治療歴を有するc-Met高発現の切除不能肝細胞癌(HCC)患者を対象としたARQ 197の第III相無作為化プラセボ対照二重盲検比較試験	肝細胞癌	第III相試験	治験
固形癌患者を対象としたTAS-114とS-1併用の第I相臨床試験	固形癌	第I相試験	治験
大鵬製薬工業株式会社の依頼によるS-1の肝細胞癌に対する第III相試験	肝細胞癌	第III相試験	治験
進行肝細胞癌を対象としたソラフェニブとシスプラチン肝動注の併用療法とソラフェニブ単剤療法のランダム化第II相試験	肝細胞癌	第II相試験	医師主導試験
転移性膵癌患者を対象としたAMG479の第III相試験	膵癌	第III相試験	治験
JPH203の固形がん患者を対象とした第I相臨床試験	固形がん	第I相試験	治験
治療歴のない局所進行切除不能または転移性膵腺癌患者を対象として、ゲムシタピン+TH-302併用療法とゲムシタピン+プラセボ併用療法の有効性および安全性を比較評価する無作為化二重盲検第III相試験	膵癌	第III相試験	治験
COMPETE-PC Study 付随疫学研究：膵癌臨床検体における各種タンパク質の発現率に関する研究	膵癌	-	
プラチナ製剤又はフッ化ピリミジン系薬剤を含む併用一次治療後に進行した転移性胃腺癌又は食道胃接合部腺癌を有する日本人患者を対象としたラムシルマブの第II相試験	胃癌	第II相試験	治験
結腸・直腸癌患者を対象とした、FOLFIRI併用時のアフリベルセプトの単群、第II相臨床試験	大腸癌	第II相試験	治験
Everolimus やSorafenib によるB型肝炎ウイルス再活性化に関する多施設共同研究	悪性腫瘍	-	医師主導試験
大鵬薬品工業株式会社の依頼によるTAS-118の膵癌患者を対象とした第III相試験	膵癌	第III相試験	治験
ヒトパピローマウイルスに起因する肛門管扁平上皮癌の拡大肛門鏡検査を用いた早期診断・治療についての研究	肛門管癌	-	医師主導試験
治癒切除不能進行大腸癌の原発巣切除における腹腔鏡下手術の有能性に関するランダム化比較第III相試験(JCOG1107)	大腸癌	第III相試験	JCOG試験
遠隔転移を有する膵腺癌患者を対象としたZ-360とゲムシタピンの併用投与による第II相臨床試験(ZIPANG試験)	膵癌	第II相試験	治験

研究名	対象	試験デザイン	研
肝細胞癌患者を対象としたARQ 197 (tivantinib) の第Ⅲ相試験	肝細胞癌	第Ⅲ相試験	治験
前治療歴のある進行性の胃又は食道胃接合部腺がん患者を対象としたパクリタキセル併用でのBBI608のプラセボ対照二重盲検ランダム化第Ⅲ相試験	胃癌	第Ⅲ相試験	治験
高齢切除不能進行大腸癌に対する全身化学療法に関するランダム化比較第Ⅲ相試験 (JCOG1018)	大腸癌	第Ⅲ相試験	JCOG試験
進行胆道癌を対象としたゲムシタピン+シスプラチン併用療法 (GC療法) とゲムシタピン+S-1 併用療法 (GS療法) の第Ⅲ相比較試験 (JCOG1113)	胆道癌	第Ⅲ相試験	JCOG試験
第一三共株式会社の依頼による胃癌・胃食道接合部癌患者を対象としたNimotuzumabの第Ⅲ相試験	胃癌	第Ⅲ相試験	治験
肝転移巣に対する根治療法後のステージⅣ結腸・直腸癌患者を対象に、術後補助療法としてのレゴラフェニブとプラセボを比較する無作為化、二重盲検、プラセボ対照第Ⅲ相比較臨床試験	直腸癌	第Ⅲ相試験	治験
臨床病期Ⅱ/Ⅲ肛門管扁平上皮癌に対するS-1+MMCを同時併用する根治的放射線療法の臨床第Ⅰ/Ⅱ相試験 (JCOG0903)	肛門管癌	第Ⅰ/Ⅱ相試験	JCOG試験
化学療法による末梢神経障害の神経生理学的評価に関する多施設共同プロスペクティブスタディ	悪性腫瘍	-	医師主導試験
化学療法未治療の遠隔転移を有する膀胱癌に対するL-OHP+CPT-11+5FU/1-LV併用療法modified regimen(mFFX) の第Ⅱ相試験	膀胱癌	第Ⅱ相試験	医師主導試験
JCOG (Japan Clinical Oncology Group: 日本臨床腫瘍研究グループ) バイオバンクプロジェクト	悪性腫瘍	-	JCOG試験
FGFR2融合遺伝子陽性胆道癌の臨床病理学的、分子生物学的特徴を明らかにするための前向き観察研究	胆道癌	-	JCOG試験
消化管・肝胆膵原発の切除不能・再発神経内分泌癌 (NEC) を対象としたエトポシド/シスプラチン (EP) 療法とイリノテカン/シスプラチン (IP) 療法のランダム化比較試験 (JCOG1213)	神経内分泌癌	-	JCOG試験
膵・消化管および肺・気管支・胸腺神経内分泌腫瘍の患者悉皆登録研究	神経内分泌癌	-	医師主導試験
膵腺房細胞癌の背景と切除不能・再発症例に対する化学療法に関する多施設後ろ向き研究	膵癌	-	医師主導試験
がん化学療法による末梢神経障害に対するトラマドール塩酸塩/アセトアミノフェン配合錠の有効性の検討	悪性腫瘍	-	医師主導試験
肝細胞癌に対する新規抗癌剤の副作用ならびに治療効果に関わる遺伝因子の網羅的遺伝子解析 (Genome-wide association study:GWAS)国内共同研究	肝細胞癌	-	医師主導試験
プラチナ製剤不耐あるいは不応の膵原発の切除不能神経内分泌癌 (NEC) 患者を対象としたエベロリムス療法の第Ⅱ相試験 (NECTOR)	神経内分泌癌	第Ⅱ相試験	医師主導試験
フッ化ピリミジン系薬剤、プラチナ系薬剤、trastuzumabに不応となった進行・再発HER2陽性胃癌・食道胃接合部癌に対するweekly paclitaxel +trastuzumab併用療法vs. weekly paclitaxel療法のランダム化第Ⅱ相試験 (WJOG7112G)	胃癌	第Ⅱ相試験	医師主導試験
コルチゾール6β - 水酸化代謝クリアランスを用いたレゴラフェニブの薬物動態と個別化使用の確立に関する研究	大腸癌	-	医師主導試験

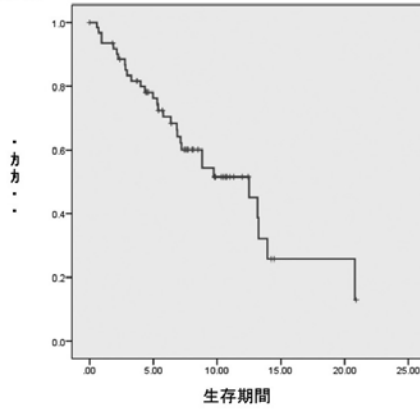
図 一次化学療法施行例の生存期間

切除不能胃癌 n=125



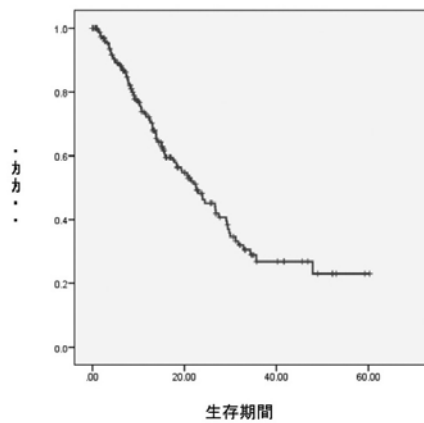
生存期間中央値 14.1ヵ月、1年生存率 57.6%、2年生存率 31.9%

食道癌 n=62



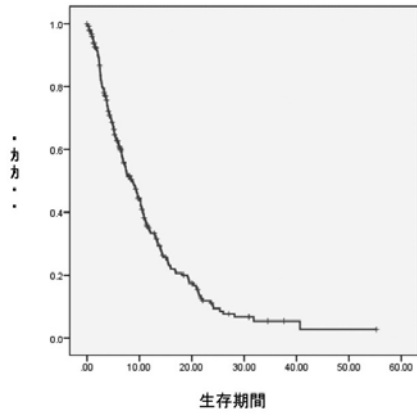
生存期間中央値 12.5ヵ月、1年生存率 51.5%、2年生存率 12.9%

切除不能大腸癌 n=235



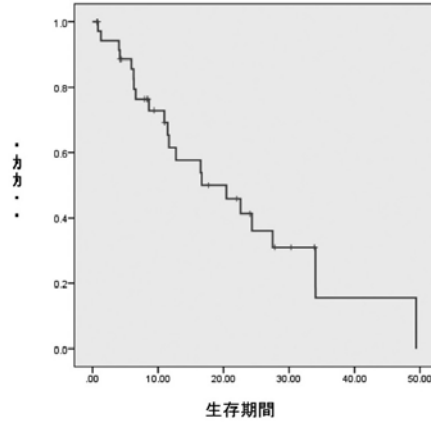
生存期間中央値 22.6ヵ月、1年生存率 72.1%、2年生存率 46.2%

切除不能膵癌 n=248



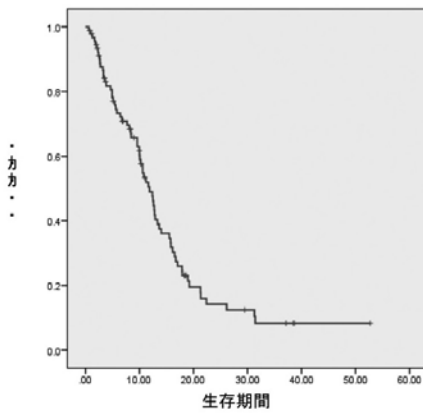
生存期間中央値 8.5ヵ月、1年生存率 33.9%、2年生存率 10.2%

進行肝細胞癌 n=37



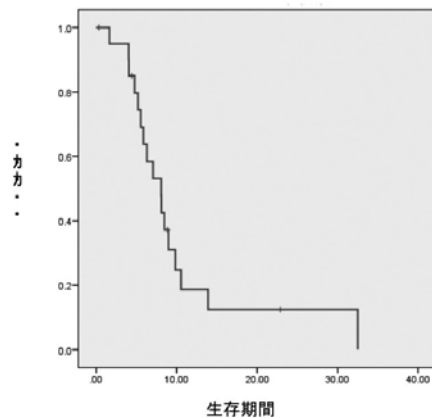
生存期間中央値 20.4ヵ月、1年生存率 61.5%、2年生存率 41.3%

切除不能胆道癌 n=92



生存期間中央値 11.9ヵ月、1年生存率 49.0%、2年生存率 14.2%

原発不明癌 n=21



生存期間中央値 8.1ヵ月、1年生存率 18.6%、2年生存率 12.4%